

# 独自技術の保護と活用による攻めの戦略で世界を目指す！

会社名 井上石灰工業株式会社  
 所在地 高知県南国市稲生3163-1  
 従業員 76名  
 資本金 2,000万円  
 売上高 34億円  
 業種 農薬、肥料、ゴム・樹脂用添加剤等の石灰加工製品の製造販売



## 支援を受けるにあたって掲げた事業上の目標

Before

- 石灰を活用した「ニッチトップ」企業である。
- 農薬「ICボルドー」の海外展開を推進するとともに、新規開発候補品による飛躍的な売上増を目指していた。
- 農薬事業の今後の適応拡大、海外展開は、強みの維持、強化を図りながら、新たな市場を開拓することが必要となるが準備が十分ではない。

## 支援を受けてできるようになったこと

After

- 農薬事業に関する開発・出願戦略を明確化でき、新たな特許登録の可能性も確認。
- 営業、開発部門に加えて特許取得判断を担う企画開発チームが設置された事で、三位一体の枠組みが出来た。職務発明管理規程制定による社内基盤の拡充。
- 海外における農薬製品の商標戦略を策定。海外でのブランド展開のシナリオ整理。

## 今後の事業展開の展望

Future

- 構築できた知財管理体制を運用させ、事業活動に必要な知財とは何かという観点で協議し、自社事業戦略に必要な知財の創造に取り組んでいく
- 農薬事業における特許出願について方針を定めており、着実な進捗を図っていく
- 海外展開について対象国の拡大および農薬登録申請を進め、販売を拡大化(販売に先行して知財対応を行うほか、各国でのブランディング活動を展開させる)

## 重点支援を受けた事業や商材



ゴム・樹脂分野



農薬・肥料分野



建材・工業分野



医療・医薬・食品分野



育種分野

石灰を原料にした、農薬分野、ゴム・樹脂分野、肥料分野等向け石灰加工製品の製造販売を展開。

良質の石灰原料とその石灰を用いたファイン化技術で他社に先行する。

ICボルドー、ゴム・樹脂配合剤共に、ユーザーにとって切り替え困難な製品であり、今後も安定した売上が見込める事業上の強みがある。

【出典】井上石灰工業株式会社提供資料  
<https://www.inoue-calcium.co.jp/>

## 重点支援を実施するにあたって整理した課題



取り組んだ課題	課題に取り組んだ背景・理由
開発戦略、知財戦略が定まっていなかった	農業事業は長期にわたる技術開発と農薬登録作業に加え、販売ネットワークの形成が必要など、経営を左右しかねない負担が想定され、農薬開発戦略、知財戦略は開発初期から慎重に検討して策定する必要がある。 知財を戦略として扱う体制がなく、技術開発、知財の両面から今後の展開シナリオを前提に早急に取り組む必要がある。
出願戦略、秘匿化戦略の理解に乏しく作業方針も不明瞭だった	現在有効な保有特許を持つが、期間満了に近いものもある。 今後の展開シナリオは他社競合の可能性も潜在するため戦略的に知財構築に取り組む必要性が高い課題。
共同研究開発等の契約について明確な方針等がなかった	製品開発において大学・企業との共同研究開発を検討しており、それに対応した知財活動、契約等が必要。 技術開発促進、販売促進とリスク回避の両面から戦略的に進める必要がある。
知財マネジメント体制の構築について、意識はされているが手つかずであった	管理体制や管理のための仕組みが未整備で、知財マネジメント体制構築の進め方を決めかねており、取り組む必要がある。
海外展開について既に取り組んでいるが知財戦略に不安があった	海外展開国において知財面でのリスクマネジメントおよびブランド戦略の観点からの検討が不十分な懸念があり、状況の確認および今後の知財戦略策定が必要である。

## 重点支援を通じて受けた支援と支援を通じてできるようになったこと



支援を受けた事項	支援を通じてできるようになったこと	活用専門家
複数商材ごとに開発戦略・知財戦略を検討	各商材の方針（開発戦略、知財戦略（秘匿化を含む））策定	農薬専門家 知財戦略専門家
出願戦略・秘匿化戦略・海外出願戦略の検討 具体的有効権利の取得検討	ICボルドーほか開発候補品の特許出願可能性を確認し、追加データ準備等の課題整理。先行調査継続	弁理士 知財戦略専門家
共同研究開発契約・販売会社等との契約への助言	契約に関する管理体制の構築	知財経営専門家
知財マネジメント体制の構築、職務発明規程の整備、契約管理体制構築、知財人材育成・知財意識の啓発	3部門が関与した知財マネジメント体制の構築（知財担当者育成の提案）、職務発明規程策定、契約管理に関する社内仕組みの構築	知財経営専門家 職務発明規程専門家
販売国におけるリスク整理および海外展開の戦略立案検討 海外における農薬のブランド戦略、商標出願	海外展開に向けた戦略・戦術の練成・知的財産の事前クリアランスの実施・進出国の実情に応じた開発方針の整理	農薬専門家 知財戦略専門家

## 支援チーム紹介

リーダー専門家：知財戦略専門家 山村 正明

活用専門家：農薬専門家、弁理士、知財経営専門家、職務発明規程専門家

知財総合支援窓口担当者：高知県知財総合支援窓口 畠山佳子

PO(プログラムオフィサー)：中隆廣